

第145回運営委員会概要 11月19日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 1F 実験室
- ◆出席委員：新野会長・佐藤副会長・高橋副会長  
石坂・三宮・竹内・武本(和)・徳永委員(運営委員)  
川口・高桑・中原委員(検討会委員)・・・11名  
(欠席：前田委員) (敬称略、五十音順)
- ◆オブザーバー：規制庁／内藤所長、山崎原子力防災専門官  
エネ庁／橋場所長  
東京電力／長野副所長、西田リスクコミュニケーター、杉山課長、  
中林副長、徳増主任
- ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事 石黒主事

---

視点第69号内容について(第135回、第136回定例会分)

視点第69号の校正を委員で確認。  
内容など細かな改善を行った。

次回以降定例会内容について(12月、1月、2月[情報共有会議])

- ◆12月定例会について
  - 〈議長〉12月の定例会内容について、どんなことを議題にしたらいいか。
  - 〈委員〉11月に行われた原子力防災訓練のこと、SPEEDIのこともいつか議論しようということ定例会の中で言っている。他に今までの議論の中で積み残したものはあるか。
  - 〈議長〉原子力防災のことで途中で止まっているものがある。優先順位をどう付けるか。
  - 〈委員〉今回の原子力防災訓練で、柏崎では高浜地域だけが参加することになった。小さな地域だけの参加で柏崎全体が防災訓練に関わるには13年くらいかかる。今回の防災訓練で感じたのは、地域で確実に役立つ防災訓練を行うためにはもっと実際に即した内容を考えなければいけないのではないかとということ。  
地震が前提の防災訓練の場合、実際にはまず地域の人たちの安否確認をするだけで1時間以上かかる。今回の訓練想定のように、2時間後に避難をさせるというのは実際に即していない。さらに要支援者の問題は深刻。
  - 〈委員〉今の計画ではSPEEDIは使わないことになった。PAZはともかく、UPZは屋内退避のあと避難するというのなら、どの方向に逃げるのか、はとてとても大きな問題になる。なぜSPEEDIを使わなくなったのか、今後SPEEDIの代わりになるようなシステムはあるのか。放射能の動きと避難は密接な関係があると思う。説明してもらうことが必要ではないか。

(委員賛成)

〈議長〉12月には原子力防災訓練の感想とSPEEDIのことについてという方向で考えていきたいと思う。

〈規制委員会〉SPEEDIは規制事務所とは異なる担当が担当しているため、担当部署に説明に来てもらえるか調整させていただきたい。

〈議長〉では、担当の方においでいただけるかどうかの調整をしていただき、12月が無理であるなら1月の定例会でお願いしたい。

(委員賛成・了解)

#### ◆2月情報会議について

(事務局) 情報共有会議の案内を1月には出したいと思うが、昨年と同じようなかたちでよいか。

〈議長〉昨年同様で、委員から今の思いを3分で話していただき、オブザーバーにはそれを加味しながら7分でご挨拶いただくという流れでよいか。

(委員賛成・了解)

〈議長〉SPEEDIの内容について依頼の結果次第になるが、12月定例会で行えれば、1月は情報共有会議の準備ということで委員から、今思うことについて持ち時間3分で話をしてもらうことにしたい。

(委員賛成・了解)

#### 地域の会のあり方及び次期改選に向けた検討会報告について

〈議長〉検討会の4人の方を中心に検討を進めていただき、委員の意見を文書にまとめた。11月定例会の直前に県市村にお渡ししたので、その経緯について報告していただき、今回で任務完了としたい。

〈検討委員〉運営委員会で数回、女川視察のときに全体会、欠席者もおられたので10月17日に1回の会合という流れだった。

この地域の会は、委員がそれぞれ考え方も違うし思いも違うこともあって、多数決ということではなく、ほぼ合意というかたちで委員の意見をまとめ、知事宛、市長宛、村長宛に申し合わせということで提出させていただいた。

(事務局) 委員の皆さんには送付させていただいた。

〈検討委員〉文面の中でそれぞれの解釈もあると思うが、常識の範囲で解釈していただければと思っている。

(委員・事務局了解)

## その他

### ◆「視点」の配布方法の見直しについて

(事務局) 柏崎市から、「視点」を今まで広報かしわざきに折り込んでいたが、平成28年1月5日号から折り込めなくなるかもしれないという話があった。その場合、配布をどのようにするか、サイズ変更を含めて考えていかなければならない。

予算にも関係することから、今後委員の皆さんからも協議いただきたい。

〈委員〉「視点」に何を求めるのか、ホームページとの相乗効果を含め、サイズや読みやすさなど、検討していくほうがよいのではないか。

(事務局) 市からの話もまだ決定ではないということなので、今後様子を見ながら考えていきたいと思う。

〈議長〉今までの流れから「視点」の内容を大きく変えることは難しかった。少しずつ改良を加え、現在はそういう縛りはもうないのではないかという認識。予算のこともあるので、今後は市民のためにわかりやすい広報誌として抜本的に変えていくことが必要だと思う。

(委員了解・賛成)

### ◆市長への会の活動報告について

〈議長〉今までいろいろな機関から、地域の会のあらましについて説明してほしいという依頼を受け、パワーポイントを使ったりしながら説明をしてきた。そのほとんどが、地域の会でお世話になっているオブザーバー関係や大学からの要請だったが、今回初めて11月28日に30分間の予定で市長に地域の会のあらましについて説明をすることになったことを皆さんにも報告しておきたい。

福島事故以後、特に、地域の会の説明の依頼が多くなっている。

地域の会のあらましについて与えられる説明時間はたいてい15分から20分。

いつも同じことを説明しており、十分に伝わっているかどうかはわからないが、その中で「地元の声が聞こえているようで聞こえなかったかもしれない」というのは中央にいらっしゃる方たちの言葉。技術者の方たちからは「技術者もやはり国民に対して説明をしなければいけないのかな」という言葉。

「推進の方や反対の方が同じテーブルで会話ができるというのが信じ難い。そこに価値がある」と言っていた。「何が価値かというよりは、それが続いているということ」、「異質なメンバーが住民でありながら、夜な夜などうして集まり続けられるんだろう」と驚かされている。

そのときに、私は「柏崎原子力広報センターの代表理事である市長から委嘱を受けているという自負と責任感、自分たちで企画をしているというお互いの責任感と仲間への愛情。それぞれの立場でありながら地元を少しでも良くしたいという真剣な思いが委員にあるから、参加率80%を維持しているのだろう」といった個人的に思っていることをはさみながら説明をしている。

成果というものには至っていないと申し上げているが、成果というよりはこういう場があるということ、蓄積された情報がホームページからどこからでも開ける状態が維持されていることに大きな価値がある。

また、オブザーバーの方がそれを支え、豊かな情報を提出してくださり、自治体の方たちが資金の面で支え、住民の方たちを立ててくださっているのが他の会には見られない大きな違いだというふうに評価をいただいているようだ。

委員の皆さんには、会長としての活動をなかなか報告する機会はなかったが、地域の会が過渡期だったこともあって、依頼や当て職のようなものにはできるだけ対応して、「地域の会とはこういう会です」ということを今まで話をさせていただいてきた。

地域の会の過渡期に必要なだと思いやってきたことであり、これを次の会長がやらなければいけないとは思っていない。

今回、市長に話をする機会があり、みなさんにも報告として聞いていただいた。

## 【決定事項】

〈12月定例会タイムスケジュール〉(予定)

- 18:30～19:20 前回定例会以降の動き  
(東京電力・規制庁・エネ庁・行政)、質疑応答
- 19:20～20:50 SPEEDIについて(仮)
- 20:50～21:00 防災訓練についての報告、その他(仮)

※内容は場合によって変更の可能性があります。

### 次回以降日程について

第138回定例会	12月 3日(水)	18:30～21:00
第146回運営委員会	12月17日(水)	18:30～21:00(予定)
第139回定例会	1月14日(水)	18:30～21:00
第147回運営委員会	1月21日(水)	18:30～21:00(予定)
第140回定例会	2月 4日(水)	15:00～18:00

柏崎市産業文化会館3 F 大ホール